

番号	感染症	出典	概要
165	クロイツフェルト・ヤコブ病	Preventive Veterinary Medicine 63, 135-149, 2004	BSE感染牛から作られた牛脂を用いた牛乳代用品を、生後7週間子牛に与えた。汚染された牛乳代用品の許容純度と脊髄のBSE感染物質が関係している可能性がある。
166	クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National Academy of Sciences of the USA, 2004, 101(9); 3065-3070	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrP ^{Sc} とは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にも sporadicCJDの所見と類似していた。
167	クロイツフェルト・ヤコブ病	Pro Med, 20040522-0060 (BBC News 05/21, Reuters News	英国で虫垂及び扁桃を検査したところ12,674件体中3検体がvCJDの兆候を示した。数千名がvCJDキャリアである可能性を指摘した。Journal of Phthologyの論文を引用した報道。
168	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 02/19, 2004 (www.pnas.org/cgi/doi/10.1073/pnas.03057771	イタリアで脳にアミロイド斑を伴い、脳内PrP ^{Sc} 蓄積の場所が異なるという病理所見を示すBSEを発見した。分子構造はsCJDのサブタイプに見られるPrP ^{Sc} と似ている。
169	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 04/07/14	米国保健福祉省および農務省は、BSEに関する追加の予防的措置についてのパブコメ要請、ヒト用食品及び化粧品における原料としての使用規制案とその記録保持規則案、を発表した。
170	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040203-0060 (英国保健省、United Press	2002年2月2日における英国のCJD患者数は、vCJD確定死亡例103例。米国でアルツハイマーあるいは痴呆症と死亡診断を受けた患者の3~13%がCJDの可能性があると。
171	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040319-0010, 04/03/19 (The Guardian)	米国農務省は、初のBSE症例が発見されたことに内応して、BSE検査を行う個体数を現在の10倍に増やすことを計画している。
172	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040319-0090 (Eurosurveillance Weekly, 8(10),	英国は、1980年1月1日以降に英国で輸血を受けた人は献血を禁止する措置を2004年4月5日に施行した。
173	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040409-0060, 04/04/09 (The Billings Gazette, CDC)	CDCのこれまでの調査では、CWDとヒトとの因果関係を示唆する明確な証拠は確認されていないが、ヒトにCWD原因プリオンの感染伝播が起こりうる可能性がある。
174	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイピーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。
175	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040415-0030 (Reuter News, 2004/04/09)	米国農務省は牛肉生産者が自主的に行う飼育牛の全頭検査を認めない方針。
176	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040512-0080 (SACBEE News, 04/05/08)	2004年6月からBSE検査の対象を拡大することに関連して農務省他、有識者のコメント。
177	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040519-0050 (Emerging Infectious Diseases,	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
178	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイピー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine,10(6), 591-593, 2004 June について)
179	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040527-1431 (Journal of General virology, 84, 1021-1031, 2003)	BSE病原体をブタに投与(頭蓋内、静脈内、腹腔内)したところ、69-150週で感染が確認された。一方、BSE感染の脳を餌として与えられ7年間暴露されても、ブタは感染しなかった。
180	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
181	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040620-0050, 04/06/17	各国のBSE発生状況、EUのBSE検査状況
182	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040806-0020, 04/08/06 (Reuters)	米国農務省は迅速スクリーニング検査で得られた偽陽性結果のすべてに対して2重再検する。

番号	感染症	出典	概要
183	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040807-0030 (Eurosurveillance Weekly, 8(31), BBC News Online, 6 Aug.)	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。
184	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc., press release, 2004/08/03	血液及び血液由来製剤から選択的に病原体を吸着し除去するフィルター製品の上市を計画している。
185	クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることが示唆される。
186	クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁頭標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
187	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Journal of Clinical Investigation, 113(10), 2004, 1465-1472	スクレイピー感染ヒツジ由来試料をハムスターに経口投与した場合、異状症状の発現する直前に筋肉内に異常プリオンタンパクが検出され、異常プリオンタンパクが大量になると異状症状を呈した。
188	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 411-412	同じLancetの論文に対して意見を述べている。BSE動物の脳ホモジネートを経口及び静脈内投与して、感染実験をしているが、血液による推定感染力は数段低いと考えられる。この症例が輸血と無関係である可能性は極めて低い。 (前回報告済み)
189	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 (前回報告済み)
190	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。 (前回報告済み)
191	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, January 3, p43	vCJDによる患者の死亡は、輸血と関連があるかもしれない。
192	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
193	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 529-531	スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染力は42%の低下にとどまった。
194	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Telegraph, 2004/07/04	フランス政府の保健医学機構の発表によると、フランスにおいて過去13年間に公式に発表された症例数の300倍に当たる30万頭以上のウシが狂牛病に感染したと概算している。(Veterinary Researchに論文掲載)
195	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transmissible Spongiform Encephalopathies 2004, Feb 23-25 (Dr R. Kascsak)	あるフィルターのプリオン除去能力に関する実験で、PrPSc汚染血液をフィルター処理することにより、PrPScを99%異常除去することがウェスタンブロット解析により立証され、感染力は4log低下した。
196	クロイツフェルト・ヤコブ病	Transmissible Spongiform Encephalopathies 2004, Feb 23-25 (Prof. J. Shih)	羽毛ケラチンとプリオンの構造は似ている。羽毛分解酵素(PWD-1ケラチナーゼ)によって、PrPScは検出感度以下まで分解された。
197	クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis, 2004, 86(2), 92-99	vCJD感染性がフィブリノーゲン及び第8因子濃縮製剤の調整時に用いられるイオン交換プロセスにより十分に除去されることが示された。
198	クロイツフェルト・ヤコブ病	WHO Media Centre News, 04/05/05	人畜共通感染症についてWHO,FAO,OIEと共に会議を行った結果と、いくつかの人畜共通感染症の例示。

番号	感染症	出典	概要
199	クロイツフェルト・ヤコブ病	読売新聞, 2004/05/24 (Nature)	プリオンがヒツジの筋肉にもわずかに蓄積することをフランスの研究チームが発見した。食用肉からの異常プリオンの検出は初めて。
200	クロストリジウム感染	CDC/MMWR, 52(48); 1176-1179, Dec. 5 2003	角膜移植後24時間以内にウェルシュ菌による眼内炎を起こした2症例について、ドナーからレシピエントへのクロストリジウム属による感染症の可能性を示唆。
201	クロストリジウム感染	Clin. Infect. Dis., 38(9); e87-91, 2004	1999年12月から2000年4月までにカリフォルニアで静注薬物濫用者が壊死性筋膜炎を発症し、4人が死亡した。6人からClostridium sordelliiが検出された。
202	クロストリジウム感染	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/22, Jan. 1 2004	静注薬物乱用者におけるClostridium nobyiの感染報告。
203	原因不明	ProMED, 20040609-0020 (The hindustani Times online,	毎年夏に西ベンガル地方で流行する原因不明の発熱性疾患(高熱、痙攣、譫妄、呼吸困難)により、小児8名が死亡し、200人が発熱したが、医師団は未だ病因を特定できていない。
204	原因不明	ProMED, 20040922-0020 (All Africa, 2004/09/21)	原因不明の疾患により、1週間で小児5名が死亡した。下痢と嘔吐を呈し、発症から6-7時間以内に死亡した。
205	原因不明	The Times of India (2004/05/03), Ahmedabad Newslne(2004/05/06)	原因不明のウイルス性感染症が疑われる黄疸のため3名が死亡し、患者120名以上が罹患した。飲料水の汚染が今回の疾患の主因と判明した。
206	原因不明	Xinhuanet.com 2004/06/24	激しい頭痛と腹痛を呈するマラリア様の原因不明の疾患により5名が死亡し、その数十名が治療を受けている。
207	原因不明の呼吸器疾患	ProMED, 20040207-0010 (XinhuaNet.com, 20040205)	ネパール中部の90人が原因不明の疾患に罹患。症状は、呼吸困難、発熱、めまい、倦怠感、咳そう。
208	原因不明の疾患	OIE Disease Information, 17(9), 2004/02/27	ブタ心筋炎(PMC)と呼ばれている原因不明の疾患は死産や離乳前の死亡の増加として表れている。電子顕微鏡による心筋炎部位の観察ではウイルス様の小片が見られる。ヒトへの影響は不明。
209	原因不明の疾患	Pro MED, 20040713 (Ahmedabad Newslne, 07/12)	インドで小児15名が死亡し、致死性ウイルス感染が疑われている。国立ウイルス学研究所チームが検体採取を続けている。
210	原因不明の疾患	ProMED, 20040222-0020 (BBC and Radio News Australia,	オーストラリアの養豚場で原因不明の疾患が発生した。
211	原因不明の疾患	ProMED, 20040223-0050 (Hindustani Tmes online 02/20, Pakistan Times online 02/22)	カシミール地方で、原因不明の麻疹に似た疾患により小児7名が死亡し、60名が発病した。
212	原因不明の疾患	ProMED, 20040515-0110 (East African Standrd)	ケニアで小児20名が原因不明の疾患で死亡した。
213	原因不明の疾患	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online 06/02)	西ベンガル地方で小児8名が下人不明の疾患により死亡した。高熱で発症し、痙攣及び譫妄を呈し、呼吸困難へと増悪する。
214	原因不明の疾患	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo,	ブラジル(Maua市)で原因不明の疾患により3名が死亡したほか、入院患者がでた。頭痛、発熱、体部痛、腹痛、下痢、嘔吐、ふらつき、皮疹、急性出血を症状とする。
215	原因不明の疾患	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune, 07/12)	パキスタンで数十名が死亡し、口蹄疫が原因として疑われている。
216	原因不明の疾患	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company,	パプアニューギニアで原因不明の疾患により30名が死亡した。5名はマラリア様症状を呈したが、マラリア陰性であった。
217	原因不明の死亡	ProMED, 20040314-0090, 04/03/13	ワイオミング州で野生のシカ約300頭が原因不明の疾患に罹患し、約200頭が安楽死処分となった。

番号	感染症	出典	概要
218	原虫性消化管感染	Veterinary Parasitology, 120, 235-242, 2004/03/25	Blastocystis属について、ヒト、霊長類、牛、豚、鳥類、げっ歯類から短利したものを分子学的・系統発生的に分析した結果、人畜共通感染する可能性が示唆された。
219	口蹄疫	ProMED, 20040802-0010 (Xinhuanet com, 2004/07/30)	フィリピンの農場3箇所で口蹄疫が発生した。
220	コロナウイルス	IASR, 25(7) 2004/07/05	小児呼吸器感染症患者から採取した検体より、ヒトコロナウイルス-NL63の検出を試み、複数の検体から本邦初となる同ウイルスの検出に成功した。
221	コロナウイルス	Nature Medicine, 10(4), 368-373, 2004/04/01	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
222	コロナウイルス	ProMED, 20040323 (Australian Broadcasting Corporation, Associated	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。(元の論文あり。Nature Medicine, 10, 368-373, 2004/04/01)
223	コロナウイルス	病原微生物検出情報 IASA, vol25(7).	小児呼吸器感染症患者より採取した600検体のうち188検体からウイルスが分離され、日本においてもHco-V-NL63ウイルスの感染があることが明らかになった。
224	細菌感染	aaBB Weekly Rport, 2004, 10(8), 4-5, 2004/2/27	血小板製剤中の細菌数低減と検出に関するaaBBの新たな基準が2004年3月1日に発行する。
225	細菌感染(ロドコッカス・エクイ)	第57回日本細菌学会東北支部総会, 2003/8/21,22	タイで69名がヒト・ロドコッカス・エクイと診断された。ヒト由来株、AIDS患者宅周辺土壌、豚の下顎リンパ節の病原性プラスミドDNAを分類した結果、ヒト由来株のうち新しい4つの菌株が分離された。 【ロドコッカス・エクイ感染症(病因: Rhodococcus equi: 病原性プラスミド(85kbあるいは90kb)を保有する強毒株(細胞内寄生菌)、1-3ヶ月の(免疫力の弱い)馬に散发的に発生。臨床症状・病理: 肺膿瘍・潰瘍性腸炎、診断: ELISA・菌の分離)】
226	サルモネラ症	Veterinary Microbiology, 2004, 101, 131-141	1995年以降デンマークで行われてきた成ブタ群の血清学的サルモネラ調査の結果、盲腸内容物と咽頭と死体表面におけるサルモネラ感染率と群血清検査との間に相関関係があることが示唆される。
227	重症急性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
228	重症急性呼吸器症候群	Emerging Infectious Diseases, 10(2), 176-178, 2004	2001年に採取された血漿のうち、健康人938人及び2003年にSARSと確定された48人の血漿を用いて、ウイルスの検出を行ったところ、SARS流行の少なくとも2年前にSARSコロナウイルスに暴露されていた人がいることが示唆された。
229	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
230	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
231	重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology, 2004, 42(1), 347-350	2つのPCR検査によるSARS検出試験で、SARS CoVは、発症後1週目の血中で検出できることが示唆された。
232	重症急性呼吸器症候群	Nature Medicine, 10(4), 368-373, 2004/04/01	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
233	重症急性呼吸器症候群	ProMED, 20040131-0080 (NY Times, 2004/01/30)	中国の研究者によるScience誌の報告では、SARSが極めて迅速に動物の病原体からヒト細胞への感染能力を獲得した病原体に変異したことを明らかにした。
234	重症急性呼吸器症候群	The New England Journal of Medicine, 350(17), 1731-1739,	2003年香港の集合住宅で起きたSARS流行について、居住場所と感染頻度との関係を空気の流れによって説明できる。

番号	感染症	出典	概要
235	重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update 4/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。
236	重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。
237	重症急性呼吸器症候群	WHO/CSR, (April 22,23,26,28,29,30, May 05,18)	2004年4月22～28日に中国で起きたSARS9例(うち1例死亡)の概要、及び調査状況について。
238	重症急性呼吸器症候群	WHO/CSR, 2004/04/22-05/18	中国において、4月28日までに9例(死亡1例)のSARS症例が報告された。5月18日にヒト-ヒト感染の終息宣言をした。
239	重症急性呼吸器症候群	厚生労働省HP, 2004/05/27	2004年に中国でSARS感染例が9例あった。
240	重症急性呼吸器症候群	読売新聞, 2004/05/11	中国でSARSが汗や尿、便を通じてヒトからヒトに感染する可能性があるとの発表があった。肺や気管の他、小腸、汗腺、胃、肝臓などの組織からウイルスが検出された。
241	水疱性口炎	ProMED, 20040520-0080, 20040702-0060, 20040726-0020, 20040829-0030, 2004090709-0030 (Texas Animal Health Commission)	2004年5月、1998年以降米国で初の水疱性口炎がテキサスでウマ9頭、ウシ8頭において確定診断されて以降、コロラド州、ニューメキシコ州でも確認されている。VSVニュージャージー血清型が原因と確認されており、現在までにウマ206頭、ウシ25頭、その他の半数動物2頭の陽性が確認されている。
242	水疱性口炎	ProMED, 20040829-0030(los Alamos Monitor, Greeley)	ニューメキシコ州で発生した致死性の家畜疾患に関する検査が米国農業省により行われており、家畜3頭が水疱性口炎の疑いで検査中である。コロラド州では74例が水疱性口炎と確定されている。
243	水疱性口炎	ProMED, 20040909-0030(米国動物植物衛生検査局)	水疱性口炎発生についての米国動物植物衛生検査局による集計では、コロラド州ウシ24頭、ニューメキシコ州1頭、テキサス州0頭。
244	セントルイス脳炎	ProMED, 20040804-0120 (Lahontan Valley News and Fallon Eagle Standard)	アメリカのサーベイランスにより、セントルイス脳炎ウイルスが蚊から検出された。ヒトへの感染は3例報告されており、最後に起きたのは1989年である。
245	炭疽	ProMED, 20040715-0130 (Phayul.com, Australian Broadcasting Company)	中国で男性が汚染された牛肉を食べて炭疽に罹患し、死亡した。この男性と接触した35名が隔離されている。
246	炭疽	ProMED, 20040801-0030, 20040813-0060 (サウスダコタ州、テキサス州)	サウスダコタ州で炭疽感染により、ウシを含む3種の動物がそれぞれ1頭ずつ死亡したことが確認された。
247	炭疽	ProMED, 20040205-0080 (ITAR-TSS)	ロシアで仔豚から炭疽が見つかり、仔豚に接触した4名が炭疽の疑いで入院した。(前回報告済み)
248	炭疽	ProMED, 20040801-0030, 04/08/01	米国で、約180組オス・メスへの放牧牛群で炭疽により8頭が死亡した。
249	デング熱	ProMED, 20041021-0020 (China Daily, the Epoch Times)	2004年9月以来中国でデング熱患者30名、感染の疑いのある患者が18名が確認されたが、100名以上が感染しているという情報もある。
250	デング熱	ProMED, 20040218-0030, (Channel News Asia-Singapore, Tami Net, Associated Press, Xinhuanet, ABC Net, La prensa honduras)	アジア各国におけるデング熱の流行状況の続報。シンガポール、スリランカ、インドネシア、中国及びオーストラリアではデング熱が大流行している。特にインドネシアでは数千名が感染し、17名が死亡した。2月の時点で、昨年の入院患者数の2倍にあたる2518名が入院した。

番号	感染症	出典	概要
251	東部ウマ脳炎	ProMED, 20040807-0040 (Sun Sentinel, Action News WPVI)	アメリカでニトリが蚊媒介性疾患の東部ウマ脳炎ウイルスに感染していることが確認された。
252	トリコスポロン感染	J. Mycol. Med., 2003, 13, 155-156	爪真菌症などの表在感染症の病原菌であるTrichosporon mucoidesが、尿路感染症として尿から分離された症例報告。
253	ニパウイルス	ProMED mail, 2004/06/24 (The New Nation)	WHOは2004年2月にバングラデシュのニパウイルス流行の感染拡大を報告した。2004年4月19日時点では、患者30名中17名が死亡した。コウモリが保有宿主と考えられる。
254	ニパウイルス	Science, 2004,303(5661), 1121	ニパウイルス感染が再興しており、バングラデシュでは40名以上の患者が脳炎を伴う重症症状を呈し、14名が死亡した。疫学的には今回の流行と、以前のマレーシアの流行とは異なる。
255	ニパウイルス・ヘンドラウイルス	ProMED-mail, 20040206-0431 (The Nation City News)	バングラデシュで起きている原因不明の死亡(20名)についてWHOとCDCの専門家が調査した結果、ニパウイルスとヘンドラウイルスの近縁の新種ウイルスが原因と考えられた。(参考文献Health and Science Bulletin, 1(5), 2003)
256	脳炎	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record,	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
257	野兔病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	プレーリードッグからヒトへ野兔病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
258	野兔病	ProMED mail, 20040713, 1882	野兔病の可能性の患者は、高熱と咳嗽を呈したが、重症化しなかった。野兔病空気感染の第一媒介者が兎であるという理論は確立できない。
259	梅毒	PPHB Infectious Diseases news Brief, Dec. 26 2003	1998～2002年に早期梅毒症例が41例から495例に上昇し、男性間の早期梅毒の割合も88%に上昇した。
260	梅毒	SCIEH Weekly Report, Vol.37, No.2004/07, Feb. 13 2004	2003年は梅毒が67症例(2002年は47症例)あり、そのうち8例はHIV陽性である。
261	破傷風	CDR Weekly, Vol.14, No.3, Jan. 15 2004	2003年7月以来、英国における静注薬物乱用者の破傷風が少なくとも10症例報告された。
262	破傷風	CDR Weekly, Vol.14, No.9, Feb. 26 2004	2003年7月以降の静注薬物乱用者の破傷風症例総数は20症例となった。
263	破傷風	ProMed, 20040125-0020 Eurosurveillance Weekly, Vol8, 4	2003年11月に最初に報告された英国での静注薬物乱用者の破傷風流行は、スコットランドとウェールズにも拡大している。
264	破傷風	SCIEH Weekly Report, Vol.37, No.2004/03, Jan. 20 2004	静注薬物乱用者の破傷風12例が英国で報告されている。
265	破傷風	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/01, Jan. 6 2004	2003年7月以来、英国における静注薬物乱用者の破傷風が少なくとも10症例報告された。
266	破傷風	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/05, Feb. 3 2004	グレーダーグラスゴーNHSで47歳女性の静注薬物乱用者の破傷風症例の報告を受けた。
267	破傷風	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/09, Mar. 2 2004	2月10日に発表されたスコットランドにおける静注薬物乱用者の感染に関するレポートの紹介。
268	破傷風	SCIEH Weekly Report, Vol.38, No.2004/13, Mar. 30 2004	静注薬物乱用者の破傷風は22例報告されており、2例が死亡した。
269	パストツレラ菌性敗血症	日本小児科学会雑誌第55回日本小児科学会、107(12); 1685, Dec. 2003	小児科でパストツレラ菌性敗血症4例のうち、新生児の2例は産道感染が示唆された。

番号	感染症	出典	概要
270	バベシア症	Am. J. Trop. Med. Hyg., 69(5), 2003, 455-460	マダニを中間宿主としてBabesia divergensがウサギに感染すると考えられる。ウサギの多い地にいるアメリカ人の溶血性熱中症では、バベシア症を疑う必要がある。
271	バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
272	バンコマイシン耐性腸球菌感染	Animal Science Journal, 74, 521-523, 2003	日本のブタの糞便からVREが検出された。感染源・感染ルートは不明である。
273	微胞子虫類感染	Parasitology Research, 92(4), 2004, 328-334	糞便試料の分析で、微胞子虫Enterocytozoon bienersiが確認された。牛から分離された遺伝子は、5つの遺伝子型に分類された。ヒトや他の家畜から分離されたものの遺伝子型と同様だったので、E. bienersiは人畜共通感染の可能性はある。
274	風疹	国立感染症研究所、感染症週報,2004年第13週	小児科定点から報告される風疹患者数の推移について。
275	風疹	国立感染症研究所、感染症週報,2004年第14週	小児科定点から報告される風疹患者数の推移について続報。2004年は10歳以上の患者群が例年より多い。20歳以上で性差があるのは、風疹の予防接種を受けている男子が少ないことが考えられる。
276	ヘルペスウイルス感染	Journal of General Virology, 2004, 85, 857-862	アフリカ及び東南アジア産のイノシシ科動物において、5種の新たなヘルペスウイルスが同定され、そのうち3種は国産ブタのヘルペスウイルスと密接に関連していた。
277	ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47,	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
278	発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
279	ポツリヌス中毒	Veterinary record, 154(23), 734-735, 2004/01/05	イギリスで牛のポツリヌス中毒と思われる症例が認められた。家畜への感染を予防するために家畜の飼育状況及びそれに関わる者の取り扱いについて規制を設けるよう、研究機関が要望。
280	マイコプラズマ性肺炎	国立感染症研究所、感染症週報,2004年第22週	マイコプラズマの一定点あたりの報告数は0.27であり、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。
281	マラリア	CDC/MMWR, 53(SS01); 21-34, Apr. 30 2004	2002年米国におけるマラリアサーベイランスの結果について。先天的感染1例、輸血に関連した感染の可能性のある1例のマラリア感染の症例他11例を紹介。
282	ラッサ熱	ProMED, 20040904-0040 (AP in Atlanta Journal Constitution)	アメリカで、リベリアから帰国した男性が、ラッサ熱により死亡した。
283	リューシュマニア症	ABC Newsletter, 2004/1/2	FDAはイラク以外のリューシュマニア流行地域からの渡航者及び移民の供血延期措置は不要とし、措置の適応をイラクに限定した。
284	リューシュマニア症	Journal of Infection Disease, 2004, 189(6), 1018-1023	リューシュマニアが治癒したとされるヒトの皮膚癒痕組織に対してPCRによる検査を行った。93.7%でリューシュマニア特異的DNAが検出された。
285	リューシュマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リューシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた6歳の少年が、輸血によるリューシュマニア感染症の疑いがあると診断された。
286	類鼻疽症	ProMED, 20040410-0030 (IOL and Straits Times, Yahoo News)	土壌に存在する菌Burkholderia pseudomalleiにより、シンガポールで15人が死亡した。
287	レトロウイルス	Pro Med, 20040320-0120 (The Times news paper, 2004/03/19)	サル泡沫状ウイルス(Simian Foamy Virus)は、ゴリラやサルの間で感染しているが、HIVが森林の野生動物の肉を介して人類に移入されたと考えられるので、SFVに注意すべき。(念のためProMed中のLancetダウンロードしてあります)
288	レトロウイルス	The Times Edition 4M, 16, 2004/03/19	カメルーンで1100人中10人からサル泡沫状ウイルス(SFV)抗体が検出された。野生の霊長類からヒトへのSFVの感染伝播を確認した。(Lancetへ報告)

番号	感染症	出典	概要
289	レトロウイルス	Transfusion 2002; 42(7), 886-891	サル泡沫状ウイルス(SFV)感染者からの輸血を受けた4事例について、感染伝播は確認されなかった。
290	レトロウイルス	Cell Transplantation, 2004, 13, 137-143	ヒト末梢性白血球移植マウスに、ブタ腺島を移植したところ、ブタの内因性レトロウイルスが移植組織に浸潤するヒト由来細胞に感染することが示された。ヒマタ血清中の自然抗体が感染抑制を示した。
291	レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
292	連鎖球菌性感染症	CDC MMWR, 2004, 53(23), 502-506	早期発症の新生児B群連鎖球菌性疾患は、継続的なスクリーニングにより、2003年は2000,2001年と比較して約30%減だった。サーベイランス地域では、2000-2003年で701例発生している。
293	連鎖球菌性感染症	CDC MMWR, 2004, 53(23), 506-509	B群連鎖球菌(GBS)スクリーニングガイドラインにて実施された2003年の結果は、ペニシリンアナフィラキシーに高リスクの母親の尿検体から180中121研究所においてGBSが確認された。
294	連鎖球菌性感染症	CDC/MMWR, 52(48); 1173-1176, Dec. 5 2003	汚染された同種移植片組織を使った膝再建手術後に、化膿性連鎖球菌による侵襲性感染症を発症した症例について。
295	連鎖球菌性感染症	HPA/CDPH, 7(2); 123-127, Jun. 2004	静注薬物濫用者におけるその他の問題のある感染症について。
296	連鎖球菌性感染症	日本小児科学会雑誌、107(11); 1536-1539, 2003	母体の膣分泌培養と児の血液、胃液、鼻腔培養より、同一菌株によるA群レンサ球菌の母子垂直感染であることが示された。
297	ロスリバーウイルス感染	PPHB Travel health Advisory, Mar. 15 2004	西オーストラリアで本年626症例以上のロスリバーウイルス感染が確認されており、最近の大雨と洪水によりの蚊を介した感染リスクが高まっている。
298	ロスリバーウイルス感染	ProMed, 20031231-0040 (Your Guide Australia 12/30)	米国南西部でのロスリバーウイルス感染患者数は、2003年は200例以上となった。